



2024年2月29日

各 位

会 社 名 JALCO ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田辺 順一
(東証スタンダード市場・コード 6625)
問合せ先 管理本部長 櫻井 義郎
電 話 03-3274-5240

(開示事項の経過) エイコス株式の取得及び資金の借入、 並びにM&Aコンサルティング売上(成功報酬)計上のお知らせ

当社は、本日、下記のとおり株式会社エイコス(以下、エイコスという)の株式取得(以下、本株式取得という)の完了及びM&Aコンサルティング事業における売上(成功報酬)を計上することとなりました。また、本株式取得に際して、必要となる資金は金融機関からの借入によって資金調達を行いましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 本件(取引)の経緯・概要

2023年11月20日に開示しました「株式会社エイコスの株式取得(連結子会社化)に関するお知らせ」のとおり、本日、株式の取得が完了しましたので、同社は当社の完全連結子会社となりました。株式会社エイコスの概要については「2. 異動する子会社(エイコス)の概要」をご参照ください。

また、本株式取得に伴い金融機関からの借入を実行しております。借入の概要については「3. 金融機関からの資金の借入の概要」をご参照ください。

本株式取得完了を前提として、エイコスが保有する建物において遊技場の運営を行っている株式会社アバンス(以下、アバンスという)とは、2023年11月20日付けで、当該遊技場の営業権譲渡に関連する独占的業務委託契約を締結しました。この契約に基づき、当社は買い手企業の選定からスキームの検討、スケジュール管理までの全業務を一手に担いました。

結果、短期間で複数の優良な買い手からBID(入札)を受け、厳正な審査を経て条件の良い買い手企業への売却が実現したことにより、成功報酬としてM&A手数料を収受することとなりました。売り手企業及び買い手企業の概要については「4. 売り手企業及び買い手企業の概要」をご参照ください。

なお、選定された譲渡先はアミューズメント業界において豊富な経験と実績を有しているため、当社所有不動産の有効活用及び当社事業の成長と価値向上に寄与することが期待されます。当第4四半期連結会計期間に計上される金額等については「5. M&Aコンサルティング売上及び不動産賃貸収入について」をご参照ください。

2. 異動する子会社（エイコス）の概要

(1) 名称	株式会社エイコス
(2) 所在地	大阪府大阪市北区国分寺2丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 平川順基
(4) 事業内容	ホテル運営事業 飲食店運営事業 不動産賃貸事業
(5) 従業員	43名
(6) 資本金	3.1百万円
(7) 設立年月日	2002年2月1日

3. 金融機関からの資金の借入の概要

本株式取得資金として、以下の借入（協調融資）を行いました。なお、借入総額は2023年3月期の連結純資産の額の30%に相当する額以上となります。

金融機関名	借入金額	借入期間	返済条件	担保設定
近畿産業信用組合	40億円	20年	元金均等返済	有
大阪商工信用金庫	20億円	20年	元金均等返済	有

4. 売り手企業及び買い手企業の概要

(1) 売り手企業の概要（2023年4月30日現在）

① 名称	株式会社アバンス
② 所在地	大阪府大阪市北区国分寺2丁目1番1号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 平川順基
④ 事業内容	エンターテインメント事業、ツーリズム事業、リアルエステート事業
⑤ 資本金	1百万円

(2) 買い手企業の概要（2023年9月30日現在）

① 名称	アンダーツリー株式会社
② 所在地	大阪府大阪市西区西本町1丁目2番8号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 松浦信一郎
④ 事業内容	ホールオペレーター事業
⑤ 資本金	91百万円

上記は、2024年1月26日に公表された吸収分割公告と同時に公表されている決算公告及び会社のホームページに掲載されている情報を基に記載しております。

なお、契約上の守秘義務などの理由から、本件の取引価格等の詳細については公表を控えさせていただきます。また、当社と売り手企業、買い手企業との間には、記載すべき資本的または人的関係性は存在せず、属性においても問題はございません。

5. M&Aコンサルティング売上及び不動産賃貸収入について

「1. 本件（取引）の経緯・概要」に記載致しましたM&A案件及び株式取得が本日最終決定・成立し、決済まで終了しましたので、2024年3月期第4四半期連結会計期間にM&Aフィー（成功報酬）及び不動産賃貸収入として売上を計上いたします。これらの合計額は、当社の直前連結会計年度（2023年3月期）の連結売上高の10%に相当する額以上となります。

また、当社の直前連結会計年度（2023年3月期）のEBITDA、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のそれぞれ30%に相当する額以上の利益の計上を見込んでおります。

6. 今後の見通し等について

本件による2024年3月期の連結業績に与える影響につきましては、2024年1月15日公表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」に織り込み済みであります。

当社グループは、単にディールを成立させることを優先するのではなく、最終的に買収対象企業の不動産オーナーとしてリスクを負い、売り手企業に対してコミットメントする形でM&Aコンサルティング事業を積極的に推進して参ります。

なお、現在も数多くの案件を手がけており、当社グループにおけるM&A関連の収益は一過性のものではなく、主力事業として持続的に成長させていく方針です。

さらに、当社グループは、この事業を通じて将来的に「業界で最強かつ最大の黒子」となることを目指しております。この目標を達成するために、業界に対する深い知見と豊富な経験を基にした戦略的な思考を駆使して、M&A市場における新たな価値を創造し、クライアント企業の成長と成功を加速させることに全力を尽くします。当社グループの取り組みは、短期的な成果にとどまらず、長期的な視点から業界の発展に寄与することを目指しております。

以 上